

# 主要国の農業政策決定プロセス等に関する分析 (所内プロジェクト研究)

## 1. 研究目的

今後の中期的に世界の食料需給の不透明さが高まると見込まれる状況の中、貿易交渉等に的確に対処していくためには、我が国の食料需給に影響を及ぼす食料消費大国や主要食料生産国、貿易交渉等の相手国の意思決定について理解することが重要。

主要国における農業政策について、その決定プロセスや政策の基本目的と考え方、その手法を選定した要因等についての的確に把握・理解することができれば、世界の食料需給や貿易交渉等に対応して中期的な視点でそれらの国のとる行動や政策対応についての予測可能性が高まり、食料の6割を輸入に依存する我が国が、食料・農業政策、対外対応を検討するに際して有用な情報となると思料。また、我が国と経済の進展度合いや食料消費構造、あるいは基本的な政治体制が類似している国については、こうした情報が、我が国の政策の企画立案の参考事例となり得ると思料。

このため、我が国の農業政策等の企画・立案に資するため、主要国の農業政策の決定のプロセス、目的、手法、特色等について分析。

## 2. 研究内容

中国、欧米等について、当該国の政策の企画・立案に精通している者からの情報収集を含め、関係論文、政府資料、現地調査などにより、以下の調査分析を行い、諸外国の農業政策の公式な立案・決定の仕組みとこれに影響を与え得る利害関係者や世論等、それによって形成される政策の基本的な姿に関する基礎的分析を実施。

農業政策の立案・決定過程に関する調査分析

農業政策の基本的な目的、手法等に関する調査分析

その他、当該国の農業政策の特色を明らかにする上で必要な事項の調査分析

20年度の成果を踏まえ、政策決定の事例や政策決定の個別主要分野での特徴などについて掘り下げた分析も実施。

## 3. 研究成果の活用方法

我が国の対外施策の立案のための行政上の参考資料として活用。

今後の主要国・地域の農業政策に関する研究の基礎的資料として活用。